

# 日本狛犬図鑑 01

## 日光東照宮の狛犬と日光のはじめ狛犬たち

	日光東照宮	……………	2		大杉神社	……………	21
	青龍神社	……………	11		平田神社	……………	22
	大室・高麗神社	……………	12		小林・瀧尾神社	……………	23
	通洞鉦山神社	……………	13		藤原・十二神社	……………	23
	人丸神社	……………	14		山口・瀧尾神社	……………	24
	行者堂	……………	16		針貝・高麗神社	……………	24
	嘉多蔵・高麗神社	……………	17		薄井沢・高麗神社	……………	25
	所野・磐裂神社	……………	18		根室・高麗神社	……………	26
	貴船神社	……………	18		星宿跡	……………	27
	小百・高雄神社	……………	19		山久保稻荷神社	……………	27
	高雄二渡神社	……………	20		オマケとあとがき	……………	28

写真・解説： たくきよしみつ

# 日光東照宮の狛犬

日光東照宮には、木彫狛犬が二対、石造狛犬が一对、玉垣と同化している獅子が一对、青銅製狛犬が一对、他に単体の獅子像などがあります。見るべきものが盛りだくさんな東照宮ですから、「狛犬」に注目して観覧するという人は少ないでしょうが、狛犬ファンのガイドブックになるよう、順路に沿って、東照宮の狛犬たちをご案内します。

## 仁王門裏の木製狛犬

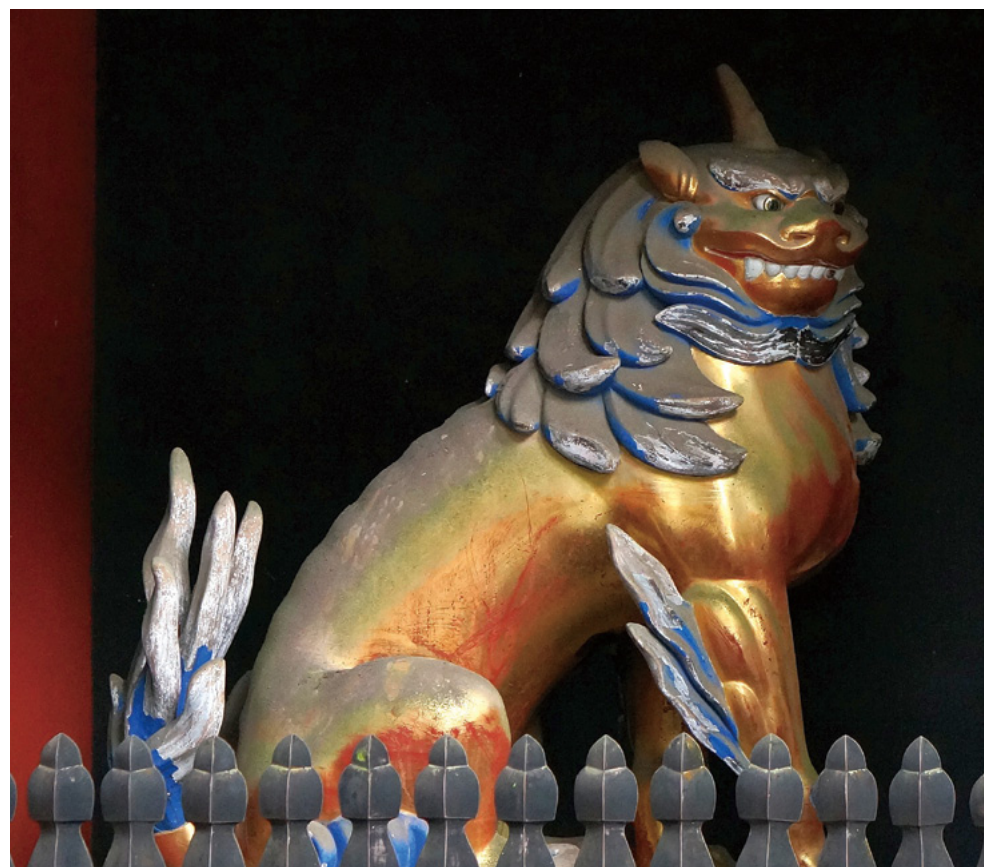


東照宮が三代将軍・家光によって大改築された寛永13(1673)年からあったものと思われる。平安時代からあった伝統的な獅子・狛犬のスタイルを踏襲している。

このタイプは京都の八坂神社や和歌山の丹生都比売神社などにある木製狛犬(推定・鎌倉時代。いずれも国重要文化財)と同じで、吽像にははっきりと角がある。



↑これは故・上杉千郷氏が私財を投じて創設した岐阜・古川にある「狛犬博物館」に所蔵されている木製狛犬(推定・安土桃山時代)だが、このタイプの木製狛犬は全国に数多く残っている。



↑東照宮を参拝して、最初に見ることができる狛犬がこれ。後ろを振り返らず進んだ人は帰りに見つけることになる。

## 跳び越えの獅子

これは正確には狛犬ではないが、有名なので紹介したい。

石堀と一体で(同じ石で)彫られている。石堀が国の重要文化財指定なので、この獅子像も自動的に重文ということになる。

狛犬研究家・山田敏春さんによれば、冬木太良右衛門(地元の石屋)の請負で、一体につき金百両と御造宮帳に記載があるそうだ。

家光がこの獅子を見て「まるで獅子が堀を跳び越えておるようじゃ。よくできておる」と誉めたので、太良右衛門が「恐悦至極に存じます」と答えたとかで、「恐悦跳び越えの獅子」などと呼ばれるようになったらしい。

石工は備前西大寺の築太夫とも言われているが、不明。

見逃す人が多いが、よく見ると阿像は舌を出して、なかなか愛嬌がある。

